

## 平成26年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：食品循環資源飼料化確立実証推進事業

事業実施予定期間：平成25年度から平成27年度

担当課室名：農林水産部畜産課

担当班名：草地飼料班

TEL:022-211-2852

e-mail: tikusan01@pref.miyagi.jp

URL: http://www.pref.miyagi.jp/tikusanka/

## 1 事業の目的

家畜に給与される飼料の多くは輸入に依存しており、国際穀物相場の影響を大きく受け、畜産経営にとって大きな不安定要素となっている。その解決策の一つとして食品残さの飼料化(エコフィード)が挙げられる。

食品残さを利用した発酵TMR(完全混合飼料)としての飼料製造に目途がつき、今後県内のモデル的な事例となるものと期待される。これについて、県内においてエコフィードを推進するために、家畜への給与結果の事例の収集および、今までに利用されたことのない食品残さを使用した新しい発酵TMRとしての飼料化の検討を行う。

また、食品残さの飼料化を検討している自治体等と連携しながら、具体的に食品リサイクルを推進するために食品事業者と畜産農家等とのマッチングや事例紹介を図る。

## 2 当該年度の実施事業の概要・実績

エコフィード製造業者に対して製造量の調査及びホームページ(中央畜産会)への掲載による情報提供。また、食品残さを利用した発酵TMR型飼料の製造の技術支援を行い、普及啓蒙を行った。

新たに、食品残さの飼料化に取り組む意欲のある自治体等に対して、エコフィードの普及啓蒙の支援を実施した。

## 3 当該年度の実施事業の成果

食品残さを発酵TMRの飼料原料として利用することにより、食品残さの保存性や飼料価値が改善され、利用価値が高まった。未利用食品残さにおいても、今後さらなる利用の拡大が期待される。

また、27年度にTMRセンターを新たに設置を要望する組織もあり、事業による製造施設の導入を検討している。

## 4 今後の展開

発酵TMRの製造方法を先進事例として、今後未利用食品残さの飼料化を推進するとともに、食品業者と畜産農家等のマッチングを行う。

## 5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：未利用食品残さの飼料利用のマッチング数)

単位：品目数

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
0	0	0	

## 6 事業費の推移

単位：千円

平成25年度	平成26年度	平成27年度
278	433	